

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.34
3・4月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



榊原 大 (Pf)



平野 公崇(Sax)
木村 大 (Gt)

あなたの心に響く ピアノとギターが作り出す情景

== INDEX ==

Pick Up Artist

榊原 大 (ピアノ) / **木村 大** (ギター)

人形劇団プーク
トリオ カルディア

さくらプラザ 自主事業レポート

前橋 汀子セルフプロデュースシリーズ
5年のあゆみ
こどものための芸術の学校 (ダンスシアター)

連載

チェコ声楽留学奮闘記
男は背中で物語る 戸塚見返親仁
出張! 戸塚新聞



ピアニスト
さかきばら だい
榎原 大

～ふたつの楽器が作り出すさまざまな情景～



榎原 大さん 木村 大さん

2019年にデビュー30周年を迎えるピアニスト榎原大さんと、20周年を迎えるギタリスト木村さんのデュオがさくらプラザに登場！クラシックをベースにジャンルを跨ぎ活躍し続ける2人が、“あなた”的心に響く美しい音楽を奏します。世代を超えた仲の良さ、そしてお互いへの信頼感が垣間見えるインタビューをお楽しみください。

—まずは、おふたりがピアノ・ギターを始めたきっかけ、そしてプロになる決意をしたきっかけを教えてください。

榎原 大(以下、榎原):

通っていた近所の幼稚園がたまたま音大付属だったんです。僕はその普通科に通っていたのですが、音楽をやっている友達が多く、自分もやりたいと言い出したのがきっかけですね。最初は、親も僕が本気かどうかわからなかったので幼稚園の足踏みオルガンから始め、1年後くらいにピアノを買ってくれました。プロになる決意をしたのは、東京藝術大学付属高校を受験した中学3年の時です。受験に失敗したら音楽を辞めようと思っていました。

木村 大(以下、木村):

父親がギターの先生ということもあり、5歳から始めました。小学生の頃から目標にしていたコンクールを1つずつ勝ち取ることで、少しずつ「ギタリストになるんだ」という自覚が芽生え、世界レベルのコンクールを目指していた中学生の頃には、家族も周りの人も一丸となって応援してくれました。その時自然と、必ずプロギタリストになると決意したように思います。

—影響を受けたアーティストはいらっしゃいますか？

榎原:ピアニストだけでも数多くいますが、強いて挙げるなら、キース・ジャレット(*1)、フリードリヒ・グルダ(*2)、グレン・グールド(*3)です。アーティストという分野ではないですが、スポーツ選手からも影響を受けたりします。

木村:ギタリストでは2018年2月に一緒に公演を行ったアンドリュー・ヨーク(*4)です。僕のデビュー時や節目の時に楽曲を書き下ろしてくれたりと幼い頃から家族ぐるみで親交があるのですが、彼の独創的なオリジナル曲は、僕のみでなくクラシックギター界に多大な影響を与えていると思います。

—2018年にリリースした初のデュオ・アルバム『Rosso Nero』についてお聞かせください。

共演経験は過去に何度もあるかと思いますが、なぜこのタイミングで作ることになったのでしょうか？また、アレンジする曲はどのように選んだのでしょうか？

木村:僕のアルバム「ECHO」(2016年)リリースツアーの時に共演したのがきっかけで、全国30本以上一緒にステージを重ねました。その時に2人で飲んで他愛のない話をしたり、時には真剣に話し合ったり。そんな結びつきがあつて生まれたものだと思います。選曲は「ピアノの名曲」「ギターの名曲」「クラシック」というテーマで絞り込みました。

榎原:ツアー中から自然発的に2人のモチベーションが一致した感じですね。アレンジはお互いの作業量が均等になるようにして、ピアノの楽曲は木村くん、ギターの楽曲は僕が……などとすると面白いかも、という視点からも数曲選んでいます。

木村:そうすることで、お互いに先入観がなく作品を捉えてやっていこうと決めました。

—デュオ・アルバムツアー中に、心境の変化や音楽に対する新たな発見はありましたか？

榎原:僕が言うのもおこがましいのですが、木村くんはレコーディング、ライブと経て、プレーヤーとしての進化を感じましたね。僕自身もスキルの反省や課題など、このツアーに限りませんが常に発見があります。

木村:少しずつ変化していくものや、大きく変えて挑戦していく作品があつたりしました。自分自身のトライする気持ちが大事だと、改めて実感しています。そのようなことはステージ上で起こる化学反応もあるので、生のステージを観て皆さんにもぜひ感じていただきたいです。

*1 キース・ジャレット

…アメリカのジャズ・クラシックピアニスト、作曲家。

*2 フリードリヒ・グルダ

…オーストリアのピアニスト・作曲家。

バッハ、モーツアルト、ベートーヴェンの演奏を特に得意とした。

*3 グレン・グールド

…カナダのピアニスト、作曲家。

*4 アンドリュー・ヨーク

…アメリカのクラシックギタリストであり作曲家。

—出会ったときのエピソードやお互いの第一印象を教えてください。

木村:榎原さんの第一印象は……でかい(笑)！ その時にいただいたいアルバム『Dear Classics』に収録されている『11月のある日』という曲がありにも静寂で美しくて、そのギャップにぐっと心を掴まれました。実際に生演奏をライブで聴いて、「(この人は)間違いない！」と確信したんです。

榎原:僕がサポートで参加していた小さなライブハウスでのライブを聴きにきてくれて、その時にラヴコールをしてくれたんですよね。挨拶程度の関係だったので、じっくり話したのはその時が初めてでした。

—おふたりの演奏は、クラシックがルーツになっていると思いますが、遊び心に溢れているコンサートが魅力です。いつもコンサートの際に心がけていることはありますか？

木村:聴きに来てくださった皆さんはもちろんのこと、演奏している僕らも楽しむこと。これまでに感じたことのないような発見や、僕らの音楽との出会いがあったら……そんなことを心がけています。

榎原:僕らの仕事はお客様にアピールしたいと思っています。特にコンサートは、2時間ないし3時間という時間を通してお客様の心が気持ちよくなってくれるかどうかが全てだと考えていますので、自分の精神状態がどういう状態であれ、とにかく集中力を持って、全力で臨むようにしています。

—榎原さんは 2017年 ヴァイオリニスト NAOTOさんとのデュオで、さくらプラザホールにてご出演いただきました。その時のホールの印象を教えてください。

榎原:こちらのホールはとても好きですね。広さもそうですが、アコースティックな楽器でお客様に届くよう演奏するのにとても良い会場だと思います。



2017年5月27日「NAOTO アコースティック デュオ・コンサート」にて

—最後に、戸塚公演の聴きどころや、お客様へのメッセージをお願いいたします。

榎原:生楽器の響きをなるべく重視して、音楽的なアンサンブルを目指したいと思っています。ギターとピアノだけという決して大きな編成ですが、2人だけでオーケストラのような響きを作り出したいですね。の中には激しい情熱や静かな癒しなど、様々な情景を感じていただけると思います。ぜひ気楽な気持ちで遊びに来てください。

木村:ギターとピアノだけのシンプルな構成。けれど内容は素敵なものになっています。皆で一緒に歌って笑って最高な日にしましょう！

(構成:桑田 春花)



「Rosso Neroツアー(ザ・フェニックスホール(大阪))」にて

おふたりをもっと知るための一問一答！

Q.お互いの性格を一言で言うと？

榎原: やさしく柔らかい人。

木村: 寛大(笑)

Q.好きな食べ物は？

榎原: ラーメン、鍋など汁物です。里芋以外、なんでも好きで食べます。

木村: 何でも美味しい食べます。お店で食べたものを家でも作ってみたりと、料理も好きです。やっぱり旬の食材を食べる事が一番幸せを感じますね。

Q.音楽以外の趣味は？

榎原: スポーツ観戦、映画鑑賞、ぐくたまにキャンプ。

木村: サッカーです。子供の頃からやっていました。爪でギターを弾くので指を使わないスポーツということで始めました。実際はめちゃくちゃ腕を使いますが。

Q.ミュージシャンになっていなかつたら、どんな職業に就いていたと思いますか？

榎原: わかりません。

自分が好きで楽しめる仕事を探していましたと思います。

木村: サッカー選手。でもギタリストが1番!!

榎原大(ピアノ)&木村大(ギター) デュオ・コンサート
2019年6月8日(土)15:00開演(14:30開場)

*詳細は裏表紙をご覧ください。



人形劇団ブーク

90

~観た人の心が遊ぶ、思い出に残る作品をつくりています~

5月5日こどもの日！2019年でなんと創立90周年！歴史ある人形劇団ブークがさくらプラザに初登場！
劇団の代表 井上 幸子さんと制作部 渡辺 萌さんにインタビューしました。

まずは、劇団結成のきっかけを教えてください。

人形劇団ブーク代表 井上幸子（以下、井上）：実は、ブークは初めから専門の人形劇団ではありませんでした。前身は、開成中学の学生サークルだったんです。当時ドイツのサークル活動の影響で日本でもワンダーフォーゲルなどのサークルが流行っていたそうで、そんな中、人形劇サークルが生まれました。1929年（昭和4年）にブーク「PUK」（エスペラント語で「LA PUPA KLUBO」＝「人形クラブ」）として初めて公演を行った日を劇団の創立記念日としています。今年創立90周年を迎えるんですよ。

一大変長い歴史のなかで、変わらず大切にしてきたこと、変わったことを教えてください。

井上：私たちは芸術創造団体です。平和な世の中になることを目指し、こどもも大人も文化を大切にできる幸せな暮らしをしていくというのがブークの理念です。その理念はずっと変わらず、劇団員たちは大切にしています。

一番変わったことは、劇場という拠点を持ってからの活動ですね。90年の歴史の中で、ブーク人形劇場が建って47年になります。劇場が建つ前は稽古をして全国を巡業していましたが、劇場ができるおかげでいつでも自分たちの芝居ができるようになりました。作品のレパートリーが増え、それまで限られた演出家でやっていたのが、若いスタッフも脚本を書いたり、美術・演出をするようになりました。私自身もその時代に入団し、劇場があったおかげでものすごく育てられました。



人形劇団ブーク 渡辺萌（以下、渡辺）：もうひとつ変わったことは、公演形態の変化です。今回のさくらプラザでの公演は7人編成のチームですけれど、別の大きい舞台は、15人編成で上演しています。「大班」と呼んでいます。昔は「大班」での活動が多かったのですが、時代の流れで小学校の体育館や保育園、幼稚園でも上演できるように編成を変え、15人、7人、4人チームと色々な班での活動が増えました。



人形劇団ブークの強みを教えてください。

井上：初代代表の川尻は、人形劇は総合芸術だと話していました。人形を中心としているけれども、その中には音楽や効果音、照明があり、全部ひっくるめて総合芸術だと。そこで自分たちができない部分、例えば音楽（劇団員が担当することもありますが）基本的にはプロに頼みます。私自身、小さな作品ほど一流の方に頼んだ方が良いと考えています。長い歴史の中で培ってきた関係の中で昔からブークと仕事をしてくださっている方がたくさんいるんですね。様々なジャンルの方たちとの繋がりの強さを感じています。

井上さんはいつ頃入団されたのですか？

井上：20歳のときです。中学生の頃は新聞記者に憧れ、入団直前はこどものための本を書きたいと思っていました。そんな矢先にこのブーク人形劇場が建って、劇団員の募集があったのです。小さい建物ですが、凛とした雰囲気があってこういう場所で本が書けたらいいなと思いました。入団後、最初の一年は制作部にいましたが、役者として舞台にも立つようになり、並行して本も書いていましたね。30代後半から脚本を書いたり演出をすることの方が増えてきました。編集部員としても仕事をし、「みんなとブーク」という新聞を20年くらい作っていました。

こども向けと大人向けの作品とでは演出にどんな違いがありますか？

井上：私個人の考えですが、基本の姿勢は変わりません。人形劇で表現できるものを大人にもこどもにも観せたいと思っています。こどもには、こどもより長く生きている先輩としてエールを送りたいと心がけています。大人のお芝居を作っているときは、自身も楽しんでいるのですが、どう観ていただいても良いかなという気持ちでいます。勿論メッセージがない訳ではないです。50年、60年生きてくる中で、皆経験が違ってくるでしょう？それぞれ違う見方をしても構いません。お芝居で何を感じて、何を考えてくれるのか、好きな感想をもって欲しいと思っています。観たあとに心が遊んで解放されて、時々は思い出してくれるといいなと思っています。

一本公演のみどころを教えてください。

井上：「三びきのやぎのがらがらどん」はブークの中で中規模のお芝居で特に人気の作品です。最近の人形は発泡スチロールなどの軽い素材でできていますが、がらがらどんたちの頭と手脚は全て木でできています。物語の大変な橋のシーンで橋を歩くと、カタツコトツと木の良い音が響くので、こどもたちも大好きになってくれると思います。がらがらどんたちもトロルも役者含めて橋に乘ります。客席からは結構な高さに見えるので、そこで戦う様子はハラハラドキドキで、こどもたちは一気に物語に入り込んでしまいます。大人の方には舞台装置や人形の造形といった美術的なことも含めて楽しんでいただけるのではないかと思います。



「いつもちこくのおとこのこ」はブルガリアの人形劇の大学に短期留学したスタッフが演出を担当しました。ブルガリアでは人形劇がとても盛んです。その縁で人形などの美術デザインは、ブルガリアの大学の先生にしていただきました。ブルガリアの美術家は色遣いが独特で、かなり遠くからでもはつきり見えます。高波やワニ、マンホールがライオンになったり、人形劇ならではの表現でどうやってお見せするかということに挑戦しています。

最後にお客様へメッセージをお願いします。

渡辺：初めて観る方も、観たことのある方も、ぜひご家族でお越しくださると嬉しいです。こどもたちだけで観る機会は小学校や幼稚園などそれぞれあると思うのですが、家族で観に行くと家に帰ってからお話をできます。それができるのはやっぱり、家族みんなで観られるホール公演ならではかなと思いますので。

井上：さくらプラザで公演するのは初めてです。どんな方が来てくださるのかドキドキしています。こども向けの作品、大人向けの作品という言い方をしておりますが、人形劇は年齢問わず楽しめます。小さな子にとってはセリフがわかりづらくても、動きを見ればきっとわかるでしょと思っています。嬉しいも悲しいも苦しいも、心が動くということは、本来楽しいことではないでしょうか。演劇、特に人形劇は心を遊ばせるものだと思っています。ぜひ、心を遊ばせに来てください。

（構成：江本 法子）

一本公演の関連企画としてブークの方に人形の動かし方を学ぶ芸術の学校を3月17日に開校します。人形を動かす面白さはありますか？

井上：どのような人形かにもよりますが、人形を構えるとき自分の目線より高い位置で構えていることが多いんです。胴串（*1）を使う人形で言いますと、自分の目で人形がどこを向いているかは見たりしないんです。胴串を握っている自分の親指が胴串の真後ろに来るよう持つのですが、親指の背がどこを向いているかで人形の目線の先が分かるようになります。また、胴串を早く動かすと、ゆっくり動かすとでは、表現が変わってきます。遠くから呼ばれたときは、ゆっくり振り向き、近くで脅かされたときは、びっくりして動きが俊敏になります。そうして一つの胴串の動かすスピードの違いで表現を変えられるんです。胴串とうなづき（*2）の使い方で100通りも200通りも表現し分けていくのです。短い時間でそれを習得してもらうのは難しいけれど、でもあえてそれくらい使わなければと思う面白さもあってもいいのかもしれませんね。



*1…読みはドグシ。棒使い人形や、文楽式抱えづかい人形の首に差し込まれて、人形つかいが握って、首（かしら）を操作する棒。
*2…胴串から出ているヒモの付いたコザルを押したり、はなしたりすることで、人形がうなづく。

人形劇団ブーク×さくらプラザ こどもの日スペシャル！
三びきのやぎのがらがらどん&いつもちこくのおとこのこ
2019年5月5日(日) 14:00開演 (13:30開場)

関連企画①【ワークショップ】
トコトコあるくよ がらがらどん人形を作ろう
2019年4月6日(土)10:00～12:00

*詳細は裏表紙をご覧ください。

関連企画②人形劇体験
【こどものための芸術の学校 特別編】

ブークの人形をさわって動かしてみよう
2019年3月17日(日)
①10:00～12:00(小学生)
②14:00～16:00(中学生以上)



*詳細はさくらプラザHPをご覧ください。



名曲サロン Vol.19出演 トリオ・カルディア **TRIO KARDIA**

～名曲で綴る新緑の香り～

名曲サロンシリーズにご出演頂く、TRIO KARDIA(トリオ・カルディア)のピアニスト 高橋 亜侑美さんにインタビューを行いました。日野 真奈美さん(フルート)、星野 沙織さん(ヴァイオリン)、高橋 亜侑美さん(ピアノ)の小学校からの幼なじみ3人組トリオで、クラシック音楽から映画音楽まで幅広い音楽をレパートリーに持つ彼女たち。演奏は勿論のこと、ポップでかわいいCDのジャケットを一度は見た事がある方もいらっしゃるのではないでしょうか?

TRIO KARDIA(トリオ・カルディア)の魅力に迫ります。



—戸塚は今回が初めてという事ですが、いかがですか?

高橋 亜侑美さん(以下略):

最初お話を頂いた時に場所がわからず、マップで戸塚を探して、横浜の南の方、鎌倉までいかないところというイメージでした(笑)。

実際に来てみると町は穏やかな雰囲気で、さくらプラザも駅からすぐなので気軽にコンサートを楽しんで頂くことができそうだと感じました。

—まずは、トリオ結成のきっかけについてお聞かせください。

結成は大学院を卒業してからです。

私達3人は小、中、高、大学と同じ学校に通った幼馴染で、大学院を卒業後に日野と星野が一緒に演奏活動をしようという時に、私にも声を掛けてくれたのがきっかけです。

大学生の頃から一緒に演奏する事もありましたが、本格的な活動はそこからスタートしました。



—それぞれどんなキャラクターですか?

日野はしっかりしてはいるのですが、少々天然なので何を言っても可愛いですし、場が和みます。コンサートでもその雰囲気をお楽しみいただきたいです。星野は多才で、グッズのデザイン等もやっているのですが、2ndアルバムのジャケットの撮影中は「ポージングの神」が降ってきたようで、素敵なジャケットになりました(笑)。

そして私はあえて言うならばTV番組でいう「ひな壇芸人」というところでしょうか(笑)。MC中など必要があれば混ざりますが基本は日野と星野にお任せして、客観的に2人を見守っている感じです。

最近は個々の活動が忙しくて3人で集まることは少ないですが、演奏中は真剣、普段は気楽に接する事ができる仲間です。



写真中央:「ポージングの神」が降ってきた星野さん

—アルバムについて伺わせてください。

1st アルバムと 2nd アルバムではジャケットの雰囲気がガラッと変りましたが、活動の方向性が変ってきたのですか?

2nd アルバムは映画音楽中心という事でポップな雰囲気に仕上げました。

今回の名曲サロンの曲目もそうですが、活動を始めたときからクラシック音楽だけではなく、ポピュラー音楽、映画音楽など幅広く演奏をしていたので特に方向性が変わったわけではありません。

以前よりレパートリーが増えてきたと言うのでしょうか。普段はコンサートに合わせて3人で話しながら選曲しています。いろいろな事に挑戦してみたいので自分たちのコンサートではクラシックをやったら次はオールバラードにする等、本当にいろいろやっています。

—2ndアルバムのジャケットでは皆さんポップな色のワンピースを着ていますが、それぞれのイメージカラーなどが決まっているのですか?

特にイメージカラーはありません。(笑) アルバムの方向性的にポップな黄色、緑、ピンクのワンピースを着ていますが毎回様々です。コンサートの雰囲気によってドレスの時もあれば、色を変えたりみんな同じ衣装の時もあります。名曲サロンの衣装もお楽しみに!



1st アルバム
「CONCENTRATION」



2nd アルバム
「CINEMA HOLIC」

—個々の活動とトリオ・カルディアの違いはありますか?

私の場合はカルディアの3人で演奏していると、練習中や本番中にお互いが言葉にしなくても感覚で呼吸感が伝わってきて、2人がどうしたいのか、次にどんな音を作ろうとしているのか、やりたいことが感覚でわかる事があります。こういう状態は“ゾーンに入る”というのでしょうか、お互いの感覚を共有しているような状態に入ります。また、3人がそいつた状態に入ると、お客様からすり泣きが聞こえる、すごい盛り上がり方をするなど、会場全体にいつもより強く音楽が共有されているように感じます。これは他の方と演奏している時には無い感覚で、小さい頃から同じ学校で勉強し、遊び、色々な体験をして育ってきた幼なじみだからなのかもしれません。



名曲サロン Vol.19公演に向けて

幅広いジャンルの曲を演奏する予定ですので、サロンコンサートという近い距離で私たちのアンサンブル、息づかいをお楽しみください。

心に「グ～っと」届くサウンドを奏でられたらと思います。

トリオ・カルディアの夢

今は東京を中心に活動しているので、地方でも色々活動してみたいですし、お客様と一緒に盛り上がるコンサートをやりたいです。

また、お子様が小さいなど、様々な理由でコンサートに行けない方達にも気軽に楽しめる音楽をお届けしたいです。



(文・構成:近藤 喬之)

TRIO KARDIA (トリオ・カルディア)

日野 真奈美(フルート)、星野 沙織(ヴァイオリン)、高橋 亜侑美(ピアノ)の国立音楽大学附属小学校からの幼なじみ3人組。

“カルディア”とはギリシャ語で“心”を意味している。

国立音楽大学で学び、それぞれが各分野にて幅広い演奏活動をしながら、トリオ・カルディアでは幼なじみにしかできないアンサンブルを展開。『ムジークフェスティバル』をはじめとする各音楽祭への出演やアウトリーチ事業や病院・介護施設などの福祉活動等、幅広いフィールドで演奏活動を行うと共に、ニッポン放送『垣花正のあなたとハッピー』への出演やCMに楽曲提供など各メディアにも出演。クラシックをベースに、ジャンルに囚われない音楽活動を行っている。1st Album 「concentration」、2nd Album 「CINEMA HOLIC」発売中。

名曲サロン Vol.19 TRIO KARDIA(トリオ・カルディア)
2019年5月16日(木)【第1回】11:30開演／【第2回】14:30開演

*

詳細は裏表紙をご覧ください。



前橋 汀子 プロデュース シリーズ 5年間のあゆみ

2014年4月～2018年12月 開催
全10回
さくらプラザ・ホール

日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味に溢れる演奏で、多くの聴衆を魅了し続けている前橋 汀子さん。さくらプラザ・ホールで自らプロデュースする5年にわたるシリーズが、2018年12月8日をもってついにファイナルを迎えました。全10回の軌跡を追います。



Vol.1 ヴァイオリン 珠玉の名曲集

2014年4月19日(土)開催
共演: 松本 和将(ピアノ)
▶記念すべき第1回目は、マスネ:タイスの瞑想曲、エルガー:愛の挨拶など珠玉の名曲の数々をお届けしました!



Vol.3 ヴァイオリン 珠玉の名曲集2

2015年4月18日(土)開催
共演: 松本 和将(ピアノ)
▶好評を博したVol.1の続編! ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女、クライスラー:ウィーン奇想曲などをお届けしました。



Vol.5 前橋 汀子 無伴奏 ヴァイオリン・リサイタル

2016年4月23日(土)開催
▶常々、「様々な様式のヴァイオリン演奏を聴いていただきたい」とお話しされている前橋さん。今公演では、バッハとパガニーニの無伴奏ヴァイオリンを中心にお届けしました。



Vol.7 ヴァイオリン 珠玉の名曲集3

2017年4月15日(土)開催
共演: 松本 和将(ピアノ)
▶三度目の「珠玉の名曲集」。モーツアルト:ヴァイオリン・ソナタ K.296、モンティ:チャールダーシュなどをお届けしました。



Vol.9 ヴァイオリン 珠玉の名曲集4

2018年6月10日(日)開催
共演: ヴァハン・マルディロシアン(ピアノ)
▶アルメニア出身のピアニストを迎えて、フランク:ヴァイオリン・ソナタ、サン=サーンス:序奏とロンド・カブリチオーソ op.28などをお届けしました。



Vol.2 弦楽四重奏を聴いてみませんか

2014年11月8日(土)開催
共演: 久保田 巧(ヴァイオリン)、川本 嘉子(ヴィオラ)、原田 穎夫(チェロ)
▶前橋汀子さんが取り組んだ、初めてのカルテット!



Vol.4 前橋 汀子と弦楽合奏 四季 ヴィヴァルディ

2015年11月7日(土)開催
共演:コンサートマスター 森下 幸路(1stヴァイオリン)、岡本 伸一郎(1stヴァイオリン)、執行 恒宏(2ndヴァイオリン)、廣岡 克隆(2ndヴァイオリン)、中村 洋乃理(ヴィオラ)、小倉 萌子(ヴィオラ)、門脇 大樹(チェロ)、市 寛也(チェロ)、前田 芳彰(コントラバス)、重岡 麻衣(エンバンパー)
▶小編成の弦楽アンサンブルで、ヴィヴァルディ:四季を中心にお届けしました。



Vol.6 弦楽四重奏を聴いてみませんか II

2016年10月16日(日)開催
共演: 久保田 巧(ヴァイオリン)、川本 嘉子(ヴィオラ)、原田 穎夫(チェロ)
▶カルテット再び! ベートーヴェンが遺した16曲の弦楽四重奏曲をの中から、初期・中期・後期より1曲ずつ演奏しました。



Vol.8 前橋 汀子 ピアノ・トリオ

2017年10月21日(土)開催
共演: 原田 穎夫(チェロ)、松本 和将(ピアノ)
▶今シリーズ初のトリオ。メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲 第1番 op.49、ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第7番 op.97をお届けしました。



Vol.10 Xmasコンサート(シリーズ最終回)

2018年12月8日(土)開催
共演: 森下 幸路(ヴァイオリン)、岡本 伸一郎(ヴァイオリン)、小倉 萌子(ヴィオラ)、門脇 大樹(チェロ)、松本 和将(ピアノ)、丸山 貴幸(シンセサイザー)
▶クリスマスや冬にちなんだ曲を演奏。Xmasソングス・メドレーで演奏者がサンタ帽をかぶったり、終演後にクリスマス抽選会を行ったりと、スペシャルな公演となりました。

子どものための 芸術の学校 ダンスシアター

2018年9月～12月 全9回
リハーサル室・練習室4

2018年度後半の「子どものための芸術の学校」は、ダンスシアター!
おどりながらしゃべったり、演じながら舞ったり……演劇とダンスの境界線で、めいっぱい身体を使って表現しました。最終日は成果発表会。「気になる子」をテーマに美木さんとこどもたちが作り上げた作品は、短いけれど不思議な切なさを感じられる素敵なものになりました。

子どものための芸術の学校とは…

演劇・ダンス・パントマイム・落語・日本舞踊など、からだをつかったパフォーマンスをこどもたちが学ぶ場です。芸術活動に関心を持ち継続して学びたいと思った子どもたちが、専門的な教育を受けることが出来る年齢になるまでの間、自らの意志で、自主的に学ぶ機会を提供します。

講師:振付家・演出家 美木 マサオさん

ダンスアートユニット「マサオプロジョン」主宰。振付家として、今までに100本以上の演劇やミュージカル、2.5次元系舞台などを振り付ける。身体表現のWSにも定評があり、ダンサーだけでなく、俳優、子ども、障害のある人など、様々な方を対象に行う。



小学生
クラス

「きに」「なる」「こ」などのフレーズに合わせた振りや、小さな灯りを手に持った振りなど、4つくらいのシーンを踊りました。



中学生
クラス

昔、気になっていた人がかぶっていた帽子。
その帽子が見知らぬふたりを引き寄せた……。
小学生クラスよりもストーリー性の高い2人芝居を演じました。
セリフも多かったけれど、よく覚えました!



4か月間指導くださった美木さんありがとうございました!

次回の芸術の学校は“特別編”として、2019年3月17日(日)に人形劇団ブークによる人形劇体験を行います。



チェコ声楽留学奮闘記

最終回
Vol.6

ソプラノ：松崎 夏美

ブチーズドゥラーヴィ

Bud'te zdrávi ! (ごきげんよう)

もうすぐ桜の季節がやってきますね。声楽作品には春の歌が多いのですが、ここで暮らしているとその理由がよく分かります。曇り空続きの冬が明け一斉に世界が色づくと、嬉すぎて私でも一曲書ける気がします(笑)。

ちなみにチェコでは、5月1日に桜の下でキスすると、その女性は美しく花開くことができる、という言い伝えがあるんです。ロマンチックですね♪

こちらへ来てからこの春で3年半になりますが、自分が留学して初めて、外国人として生きるというのはこんなにも大変なことなのかと驚きました。襲い来る諸手続き、異文化の中、言葉ができないというハンデを背負って闘う日々。何かを事前に確認しても人によって言うことが違うという恐怖(笑)。すごくすごく大変だった(今でも大変!)けれど、それでも、留学してよかつたか?と聞かれたら、迷わず「はい」と答えます。



春には広大な菜の花畠がいたるところに!

ここに来ることでまず、自分の視野が広がりました。言葉になるとシンプルですが、これは目の前の世界がぐるりと回転するくらい衝撃のことです。自分が今まで「こうでなければならない」と思っていたことを、誰も気にしない。そうなって初めて、なぜ自分はこのことにこんなに固執していたのだろう、と立ち止まって考える。自分の価値観が揺さぶられ、その繰り返しの中で何が一番大切なかを考え始める。ものすごく大きな変化です。



コンサート後ピアニストさんと先生と一緒に

それから、ここでの生活を通して「やればできる体験」をたくさん経験しました。不可能だと思ったチェコ語が話せるようになった。解決法の見当もつかなかつた問題が解決できた。そして、心の底から自分の歌を変えたいと、自身の声や体と向き合う中で、頭のどこかで「自分にはできない」と思っていたことが、少しずつできるようになっていった。

私が心から敬愛する先生に言われ、ずっと心の支えにしている言葉があります。「歌を学ぶということはね、巻きの緩い螺旋階段を上るようなものなの。あまりに巻きが緩いから、途中で上ってるんだか下ってるんだか分からなくなるけれど、それでも信じて進んでいると、ある日ほんの少しだけ、もと居たところよりも高い場所にいることに気付くのよ。」

辛くてしんどくて、本気でもう全てやめてしまおうかと思ったこともありました。試行錯誤を繰り返し、ある時ふと、自分の声の中に欲しかったものの片鱗を見つけた時、自らの可能性に目を向けられた時、これほど大きな喜びはありませんでした。

そして何より、こうして様々な問題を乗り越えられるのも、自分自身が成長できるのも、その都度手を差し伸べて、支えて、評価してくれる人たちがいるからに他なりません。

お先真っ暗でもうダメかもしれないと思って、あきらめなければ必ず道が開ける。私が留学する中で学んだとしても大切なことです。このことを胸に、歌を愛する人間として誰かの役に立っていくよう、これからも日々奮闘してまいります。

松崎 夏美
Natsumi
Matsuzaki

チェコ豆知識 に代わって…

今年の8月、私の留学生生活をずっと支えてくれているチェコの友人とともに、
さくらプラザでコンサートをさせていただくことになりました！
皆様ぜひ、足をお運びくださいませ♪

フェリス女学院大学音楽学部
演奏学科・同大学院音楽研究科修士課程修了。
在学中よりチェコ声楽作品に強い関心を持ち、2015年よりチェコ共和国政府奨学金を得て留学、ブルノのヤナーチェク音楽芸術アカデミーにて研鑽を積む。現在はプラハオペラスタジオに所属し、精力的に演奏活動を行なっている。これまでに東由子、土屋広次郎、宮部小牧、秦貴美子、I.ミケスコヴァー、J.マルコヴァーの各氏に師事。

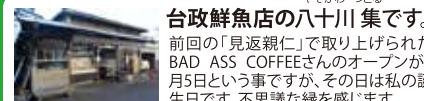
名曲サロン Vol.20

ソプラノ 松崎夏美&テノールマルティン・ヴィドラ デュオコンサート ~日本とチェコの名曲~
2019年8月22日(木)【第1回】11:30開演【第2回】14:30開演

*詳細は裏表紙をご覧ください。

好評
発売中

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いている
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。其之
三十五

やそかわ つどる
台政鮮魚店の八十川集です。
前回の「見返親仁」で取り上げられた
BAD ASS COFFEEさんのオープンが6
月5日という事ですが、その日は私の誕
生日です。不思議な縁を感じます。



寒鯖をさばく八十川さん

寒鯖のお刺身

親に逢いに行こう！

だいま
台政鮮魚店
横浜市戸塚区戸塚町 4897-6
TEL. 045-861-0243

営業時間：9:30～18:00

定休日：日曜日・水曜日

(営業時間・定休日は変更の場合あり)



次号の親仁は…？

TOTUKA JOURNAL

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を
鋭意取材中！ 詳しくは「戸塚新聞」で検索！#19 食 戸塚にインスピアイ系オープン！
ラーメン幸豚

今回取材したお店

幸豚

戸塚区汲沢町1169-3
営業時間:11:00～14:30
17:00～22:30
休業日：なし

こんにちは！ 本日は勢いだけの記事です。細かいことは抜きなので、興味があったら行ってみてください！

1月29日(火)にオープン！ あのインスピアイ。車なら新道から藤沢方面に向かい、戸塚警察署の交差点で右、すぐにいい感じの建物が見つけられます。

店内に入れば、券売機があるので、とりあえずラーメンを購入。汁なしもありましたが、初めてなので汁ありで。

はい！ やりましたよ。

やっちましたよ。

知ってる人は知ってる「例の呪文」が通用するのかわからなかったので、提供時に「にんにくと野菜どうします？」と聞かれたときは、「どちらも多めで…」という当たり障りない返事をしたのですが、厨房では「マシマシ」と翻訳されました。

にんにくもこんなです。何個使ってんの？って感じ。では、心してかかりましょう。まずは麺。よいしょ。あれ？ 麺が… 重くて持ち上がり難い…！！！

Information

「戸塚新聞」とは

戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索！

戸塚新聞 検索



戸塚新聞 幸豚 検索

http://totsukashinbun.com/

さくらプラザコンサートスケジュール

若林 順 セルフ・プロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ
ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》
 『第2期』5/10、7/5、9/20、11/29、2020.1/31
 以上すべて(金)各回19:30 若林 順(ピアノ) 他
 全席指定
 各回 一般2,500円／学生 1,500円
 シーズンシート(5公演セット) 10,000円


好評
発売中

即興演奏×クラシック
平野公崇 Sax 即興演奏レクチャーコンサート
 平野 公崇(サックス)
 山田 武彦(ピアノ)
 3/16(土) 14:00
 全席指定 一般 2,500円
 学生 1,000円


好評
発売中

人形劇団ブーク×さくらプラザ こどもの日スペシャル!
三びきのやぎのがらがらどん
いつもちこくのおとこのこ
 5/5(日・祝) 14:00
 全席指定 一般 2,500円／こども 1,000円
 親子ペア 3,000円


赤ちゃんも歓迎!

好評
発売中

榎原 大(Pf) & 木村 大(Gt) デュオ・コンサート
 ピアノとギターが奏でるあなたのための音楽
 榎原 大(ピアノ)、木村 大(ギター)
 6/8(土) 15:00
 全席指定 一般 3,000円
 ペア 5,500円
 学生(高校生以下) 1,000円


好評
発売中

らららん♪ドレミシリーズ
 第1回 10:45／第2回 12:00
 演奏/Bambini(バンビーニ) 会場:リハーサル室
 全席自由 500円(0歳より有料)
Vol.4 0歳から大人まで楽しめるコンサート
 3/7(木) ~春の贈り物~
 ※2019年度開催日程については
 チラシもしくはHPをご覗ください。(3月中旬公開予定)


赤ちゃんも歓迎!

好評
発売中

共催 社会風刺コント集団 ザ・ニュースペーパーLIVE 2019
 4/6(土) 第1回 14:00／第2回 17:30
 全席指定 各回 4,800円


好評
発売中

共催 「展覧会の絵」 シリリーの風
 ジャコモ・シナルドー 初来日ピアノ・リサイタル
 5/19(日) 14:00
 全席指定 一般 2,900円／ペア券 5,000円


窓口販売のみ

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
 チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。
 ●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。
 ※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。
 ※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

編集後記 春の訪問が近づいていますね。平成という元号もまもなく終わり。新たな時代も、さくらプラザは文化・芸術との素敵な出会いをお届けしてまいります。

気になる公演がありましたら、ぜひお問合せくださいませ!(桑田)

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
 詳細はチラシをご覗ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 ※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

鈴木 理恵子 室内楽シリーズ Season2 Vol.10

ヴァイオリンと笙・ギター・声

～時を超え響き合う音色～

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、巻上 公一(語り・ホーメイ他)
 石川 高(笙)、鈴木 大介(ギター)

3/10(日) 14:00

全席指定 一般 3,000円／ペア 5,000円
 学生 1,500円

©Wataru Nishida



前橋 汀子 ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタシリーズ 全2回

4/13(土)・5/25(土) 各回14:00

全席指定 前橋 汀子(ヴァイオリン)
 松本 和将(ピアノ)

各回 一般 3,500 円

2 公演セット券 6,000 円

EX席 2,000 円

(補助席・見切れ席)



さくらプラザ電話予約
 3/20(水)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から
 先行抽選のキャンセル分・EX席を先着順で販売

連携企画1 こどものための芸術の学校 特別編

3/17(日) ①10:00～12:00 (小学校4～6年生) ②14:00～16:00 (中学生以上)

参加無料

連携企画2 トコトコあるくよ

4/6(土) 10:00～12:00 がらがらどん人形を作ろう

1,500円 (材料費込)

*詳細はチラシもしくはHPをご覗ください。



名曲サロン シリーズ シーズンチケット(4公演セット) 3,000円

リハーサル室公演 第1回 11:30／第2回 14:30

各回約45分間／全席自由 各回 800円



Vol.19 TRIO KARDIA (トリオ カルディア)

5/16(木) ～名曲で綴る新緑の香り～

Vol.20 松崎夏美 &マルティン・ヴィドラ
 8/22(木) デュオ・コンサート
 ～日本とチェコの名曲～



Vol.22 6手のためのピアノ連弾

2020.
 2/14(金) ～ザルツブルクで
 ともに学んだピアニストたち～



Vol.21 ホール特別公演

11/14(木) さくらプラザ サポートアーティストによる
 弦楽アンサンブル



14:00 約90分間／全席指定 1,000円



Ticket さくらプラザ先行電話予約

シーズンチケット 好評発売中

各公演単独券 3/1(金)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

さくらプラザ先行電話予約
 シーズンチケット 好評発売中
 各公演単独券 3/1(金)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

